

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	株式会社千広				
事業所の名称 (施設名)	ふあみさぼここ またね・ここぷらす またね				
事業所番号	4650100623				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島県鹿児島市谷山中央八丁目10番1号				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 28 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓2にURLを記載
	2. 内容	https://famisapo-coco.com/
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	山下 ゆかり
連絡先 (TEL)	090-5933-7604

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここぷらすまたね		
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日		令和8年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の資質向上の為の取り組み	月に1回、入職1年目と3年目の職員を対象に社内研修が行えている。	インプットで終わらずアウトプットすることで他者理解にも繋がるよう努めていく。
2	適切な支援の提供	放課後等デイサービスの運営も行っていることで固定の職員が決まっていなが、怪我等のないよう見守りの徹底を行いながら安全な支援を行えている。	将来を見据えた関わりをする為に、日頃の言葉かけや関わり方が意味のある支援となるよう工夫が必要。 勉強会等を通じて基盤作りを行う。
3		活動内容が固定化されないよう、5領域に沿った支援の提供が行えている。	ご利用者にとっても分かりやすい活動内容となるよう、ご利用時に振り返りを行うとともに次回は何を行うのか、楽しみを持って来所頂けるよう、先の見通しを持った提供を行う。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備の曖昧さが見られる	生活空間に対して、過ごしやすい環境だがご利用者にとって分かりにくい構造となっている。	・視覚支援の活用 ・タイムタイマーの設置 ・物の置き場所の明確化
2	業務改善 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に沿った動きに不十分さがある	タイムスケジュール化をすることが欠けていたことで、業務改善に至るまでに時間を要している。	・すべきことの可視化 ・ルール設定の明確化
3	関係機関や保護者との連携強化	情報共有は行っているが、連携を図る場面が少ない為、様々な取り組みを通して、さらに関係構築ができるよう努めていく。	・保護者会や保護者交流の場の提供 ・親子療育の実践 ・療育参観日の設定 ・相談支援事業所への訪問

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ここぶらすまたね

公表日 令和8年2月28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員に合わせたスペースとなっており、落ち着いた空間で過ごせる環境となっております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		1日2名以上の職員を配置し、より手厚い支援へ繋がるよう心掛けています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		令和6年に新設されたこともあり、清潔感あふれる環境となっております。 トイレは2箇所設置し、同性介助がしやすい様、工夫しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日朝から環境整備を行い、安心安全に受け入れができるよう整えています。 ・事業所周辺の環境整備も適宜行っております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		事業所内会議を通じ、現在の課題を踏まえ改善できるところは共有しながら進めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年自己評価を頂き、ご意見やご要望などを確認し状況把握に努めております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月、1対1での職員面談を通じて意見などを把握する機会を設けて改善へ繋げております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は実施しておりません。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に社外・社内研修の場を設け、資質向上や知識を深める為に計画しております。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページへ支援プログラムの公表をしております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		契約時やモニタリング時期に、ご利用者へアセスメントを行い計画が立てられるよう、取り組んでおります。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員の意見なども踏まえ、話し合いをした上で計画の策定や検討をしております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケース検討会議時に共有しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アプリでや書面での管理や弊社指定のアセスメントツールを使用しております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域に合わせた計画及び、支援を提供しております。 常日頃、ガイドラインに則ったサービス提供ができるよう、心掛けております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当を決め月ごとに活動内容を5領域に合わせて考案しております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		曜日ごとに活動内容を変え、5領域を含んだ活動を行っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動をメインで行い、毎日数十分の時間で個別活動を取り入れております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、朝礼・終礼を行い支援内容の共有や振り返り等を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必ず共有が必要なことは、当日出勤者全員で共有をしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		アプリを通じて記録を残し、より良い療育へ繋がられるようにしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画書の更新時期に合わせて、モニタリングやアセスメント等の振り返りを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が参画しており、状況に応じて担当職員も同席しているケースもございます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			なるべく安心して移行ができるよう連携を図り、共通認識を持つことができるよう対応しております。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			案内通知を受けた際には、情報把握に努めておりますが、都合が合わない場合は参加しておりません。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		夏祭りを開催し、地域の方や子どもたちとの交流を図ることができました。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○	面談や担当者会議等を通じて、共有を図っております。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今後ご希望に応じて検討し、対応ができる際には取り入れて参ります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時やその他、説明が必要な場面で対応しております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		なるべく対面で説明および同意を頂くよう対応しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日頃より家族支援の一環として、面談の実施をしております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月通信（お便りや活動案内）を発行し、情報伝達に努めております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		情報漏れのないよう、ファイル管理やデータ管理の徹底を行っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	ご家族様の家庭状況や状態に合わせて、丁寧に配慮しながら対応しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		毎月「あそびの広場」を開催し、地域の方や子どもたちとの交流を図ることができました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		委員会が中心となり、マニュアル策定を行い事業所保管を行っております。	ご家族には訓練の周知は行っておりますが、マニュアルの周知までは至っておりません。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定しており、定期的な訓練や情報共有を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご契約時に基本情報等を把握し、職員間での共有も行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのあるご利用者は、アレルギー検査結果の提出なども含めご家族に都度、確認しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、毎月計画に沿って確認および実施を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			毎年、事業所で策定した安全計画に則り、対応を行っておりますが周知までは至っておりません。周知方法を検討し、必要に応じて対応して参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		全職員が共有できるよう、回覧板なども使用しながら対応しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		弊社の虐待防止委員会が中心となり、委員会開催および研修の実施、セルフチェックシートの記入などを対応しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		主に施設が必要な場面がある為、個別支援計画書へ反映後、皆様に同意を得ております。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ここぶらす またね
------	-----------

公表日 令和8年 2月 28日

利用児童数 12

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	5				1	保護者からのニーズを確認しながら、今後検討して参ります。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1			1	ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者面談等の家族支援は行っています。ご利用中の方だけでなく、外部の方も参加できる研修会を実施しています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		1		3	研修会等で保護者同士が交流する機会はありませんでしたが、回数としては少ない状況です。毎月「あそびの広場」を行っており、未就園児のきょうだいの方はご参加も可能な状況です。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6					
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6						

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			1	マニュアルは整備しております。保護者の皆様への周知方法も検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			2	訓練は年2回以上実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1	安全計画や非常災害対策計画も策定し、支援に当たっています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1	事故、怪我発生時には保護者へのご連絡やご説明を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6				
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふあみさぼこまたね		
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36人	(回答者数) 30人
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者満足度	保護者のニーズに合わせた支援や、個別支援計画に沿った活動提供を行っている。	・活動内容をより充実させるために、職員間の話し合いの場を設けていく。 ・より専門的な支援を行っていく為に、外部研修への参加を積極的に行っていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備	入職時のミスマッチや職員一人一人の療育についての認識。	入職時のミスマッチを防ぐ取り組みと合わせて、職員と管理者による毎月の面談を実施することで、一人一人が希望を持って働ける環境設定へ努めていく。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふあみさぼこまたね		公表日		令和8年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		ご利用者の安全面に考慮し、全体を見渡せるような環境設定を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		毎日の清掃と消毒を徹底している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて相談室を使用出来るようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員間や管理者とともに業務改善の話を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年自己評価表を配布し、職員間で意向の把握を行い、業務改善へ繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		事業推進会議や事業所内会議、1on1面談などで意見を伝えることが出来ている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修や事業所内研修があり、スキルを向上する機会がある。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		モニタリング面談を通してこども、保護者のニーズや課題を導き出している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		朝礼、昼礼、終礼、会議などで話を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		事業所内会議等で職員間で共有し、日々の支援へ反映している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		面談等でアセスメントシートを使用し、計画へ反映している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		放課後等デイサービスガイドラインと保護者やご利用者のニーズに合わせた計画を立てている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		五領域に沿って職員間でミーティングを行い、活動立案へ繋げている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼で振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ご利用者の日々の記録を取ることが出来ている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングにおいて計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ご利用者の状況に合わせて支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		声掛けを工夫したり、視覚表示を使用している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管や管理者が行き、共有を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		送迎時や保育所等訪問支援を通して共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園活動や公共施設などで関わる機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		情報把握へ努めている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や日々の記録で伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者のご意見に合わせて、引き続き検討していく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、見学時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			以前まで親子イベントを実施していた為、引き続き検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ、リタリコ発達ナビで情報発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		活動において地域住民の方にとって頂く機会を設けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		基本情報を記入していただき、把握している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		研修やマニュアルで周知されている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		マニュアルに沿って実施されている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		朝礼、昼礼、終礼時に共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルに沿って実施されている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ふあみさぼこまたね		公表日 令和8年2月28日					
			利用児童数 36		回収数 30			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	3		3		ご利用者のニーズや人数に合わせて、活動スペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2		5		加配を取れる配置となっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	2		3		事業所内には視覚表示を用いた説明や、安全面に考慮しクッション性のある床と壁紙になっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1		4		毎日の清掃と消毒を徹底して実施しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2		2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1		1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1		2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29			1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	3	4	10		外出時には地域の子ども達と関わる場面もございますが、児童クラブとの交流等はニーズもなく取り組んでおりません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	2	1			ご迷惑・ご心配をお掛けし大変申し訳ありませんでした。最初にご案内を記載した際、手数料についての記
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	4		8		今後はご希望に合わせてペアレントトレーニングの導入等も検討して参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	1		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	4	3	7		以前は親子イベントを実施しておりましたので、今後も検討して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2	1	4		職員間での共有や、迅速かつ丁寧な対応が出来るように、改めて見直しを行って参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30					

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1		4	マニュアルは策定しておりますが、事業所内での保管となっておりますので、必要に応じてご説明させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25			5	年に2回実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27			3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1		2	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27	2		1	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	1	1		保護者やご利用者のご意見を十分に踏まえた活動提供が実施できるように、引き続き支援の見直しを行って参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	3		1	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここぷらすまたね（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日		令和8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月10日		令和8年1月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援で活用する教具教材の準備	ご利用者の特性に応じ、視覚支援や教具等を活用しながら支援を行っている。	特性に合わせた、教具・教材の選定、必要に応じて作成等を行い、より充実した支援を行う。
2	保育所等訪問支援のガイドラインに沿った支援の提供	主に障害児支援の基本理念を参照としながら支援に努めている。	日々の支援がPDCAサイクルに沿った対応が定着化できるよう、職員間で話し合いを積み重ねながら基盤を作っていく。
3			

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修の充実	保育所等訪問支援に特化した研修の回数頻度が少なく、外部研修としても開催頻度が少ない傾向あり。	療育に関する研修は受講できている為、ヒントを見つけながら保育所等訪問支援でも活用できる部分は積極的に取り入れていく。
2	業務改善を努めるためのPDCAサイクル	児童発達支援・放課後等デイサービスの運営も行っている為、情報共有や業務改善に向けた話し合いを行う時間が限られている。	必要な情報を可視化しながら、PDCAの基盤が作れるよう管理者・児発管が中心となり運営を行っていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ここぶらすまたね（保育所等訪問支援）		公表日 令和8年2月28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 体制 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		ご利用者の状況に合わせて教材等の確保を行っている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		4名の訪問支援員を配置。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		主に訪問後に振り返りも兼ねて次の支援へ繋がるよう対応できている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回、保護者向けの評価表へご回答頂き内容共有および改善できるところは改善へ努めている。	日々の面談等を通してご意見も伺いながら丁寧に対応して参ります。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		上長との面談を通じて業務改善へ繋がるよう会社全体で対応できている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修への参加を積極的に行っている。	保育所等訪問支援に関する研修頻度が少ない為、質の向上を目的に外部研修も探しながら対応していく予定。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		ご契約時や個別支援計画書の更新時期のタイミングでアセスメントを丁寧に行っている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケース検討会議を通して計画書へ反映できるよう、努めている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		ご利用者の状況に合わせて訪問先の園や学校と連携を図っている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		口頭および回覧をした上で共通認識が図れるよう、努めている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		弊社指定のアセスメントシートを活用し、可視化を行っている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの内容共有を職員と定期的に行っている。ガイドラインに沿った支援ができるよう心掛けている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者が中心となり、口頭および書面での共有を行い、内容把握に努めている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼や会議などを通じて事前打ち合わせを行い、準備不足などが無い様、努めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼を行うことで、振り返りや課題の共有を行うようにしている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		園や学校の規則に沿って対応を行うことへ心掛けている。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		アプリを通じて記録へ反映し、振り返りが行いやすいように対応している。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年毎にモニタリングを行い、アセスメントを行った上で計画書へ反映をしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が中心となり、参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ご利用者の状況に合わせて連携を図っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部研修への参加を積極的に行っており支援へ活かすことができるよう学んでいる。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談や担当者会議の際には、ご利用者本人にも参加有無を確認しながら一緒に目標決めができるよう努めている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		対象児童全ての学校・園の担任の先生を中心とし、チラシ等を活用しながら説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		面談時や送迎時などを通じて、なるべく対面で説明および同意を頂けるよう、努めている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		相談毎へ迅速に対応し、一緒に手立てが考えられるよう家族支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応することを心掛け、常日頃丁寧に対応を行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		アプリを通じて、必要に応じて情報発信を行っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		2名体制で確認を行いながら情報漏洩とならないよう、管理の徹底を行っている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用者の特性に応じて情報共有をこまめに行うことや常日頃、配慮ができる体制を整えている。	
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		迅速に対応し、助言等を行うことで関係構築へ繋がるよう努めている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			なるべくその日のうちに振り返りができるよう努めているが、後日の対応になってしまうこともある。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		その日の内にアプリまたはお電話などで共有を図っている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書庫内で個人情報の管理を行い、お互い確認をし合いながら常日頃気を付けている。	事業所内の整理・整頓を図ることでより個人情報への扱いに気を付けることができると思われる為、対応していく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		相談を受けた際には、記録へ残し次の支援へ繋げられるよう手立てを考えながら対応している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練後は実施記録を作成の上、保管を行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年に1回作成および計画の内容見直しを行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		必要に応じて朝礼や終礼時に共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に1回以上研修および定期的に委員会の開催を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

保護者等向け 評価表

公表日: 2026年2月28日

事業所名: 保育所等訪問支援 ふあみさぼここまたね

対象人数(保護者)18人 回答者数 11人 回収 61.1%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	訪問支援に使用する 教具教材が整えられ ていますか。	6	1		4		ご利用者の成長発達に合わせて必要に 応じて揃えられる部分は事業所で検討 し、完備しております。
	②	プライバシーに配慮 された面接室等が整 えられていますか。	11					
	③	事業の目的が適切 に説明されていると 思いますか。	11					
	④	保育所等訪問支援 の頻度や時間につい て、相談の上決定さ れていますか。	10	1				事前に園、学校の先生方と時間や頻度 について協議の上、対応しております。
	⑤	こどもの状態に応じ た支援が提供できる 職員(職種や人数) 体制だと思えますか。	9			2		専門性のある職員を配置し、安心して過 ごして頂けるよう体制を整えております。
適切な 支援の 提供	⑥	こどものことを十分 に理解し、こどもの特性 等に応じた専門性 のある支援が受けられ ていると思えますか。	10			1		園、学校の先生方や関係機関と連携を 図った上で、目標設定を共有し専門性 のある支援ができるよう対応しており ます。
	⑦	こどものことを十分 理解し、こどもと保護 者のニーズや課題が 客観的に分析された 上で、保育所等訪問 支援計画(個別支援 計画)が作成されて いると思えますか。	11					
	⑧	保育所等訪問支援 計画(個別支援計画) には、訪問先施設や 担任等の意向が盛り 込まれていると思 いますか。	10	1			冬休みの宿題を見てから国語と算数で 気になる点が多々あり、母が教えても聞 こうとせず困っています。 去年は担任の先生から不要とされて様 子を見ましたが、今年は私も先生方と お話して利用できるようにしたいです。	現状把握に努め、ご家族や園、学校の先 生方と協議の上、直接支援の介入がで きるよう関わって参ります。
	⑨	保育所等訪問支援 計画には、保育所等 訪問支援ガイドライ ンの「保育所等訪問 支援の提供すべき具 体的内容」も踏まえ ながら、具体的な支 援内容が設定され ていると思えますか。	9			2		個別支援計画書に於いて、5領域に基 づいた目標や支援方法を記載し、設定 しております。
	⑩	保育所等訪問支援 計画に沿った支援が 行われていると思 いますか。	9	1		1		目標に沿った本人支援を行うことがで きるよう、計画に沿った対応を丁寧に行 っております。
	⑪	保育所等訪問支援 を実施する際、訪問 先施設に配慮した支 援が行われている と思えますか。	10	1				事前に配慮が必要なことを相互に確認 の上、丁寧に対応を行っております。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	⑬ 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	7	1			3	家族支援プログラムは取り入れておりませんが、面談等を通して関わり方について一緒に考える機会を今後設けていきます。
	⑮ 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	11					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1				
	⑱ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1				
	⑲ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	⑳ 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	10	1				適宜相談等に応じ、一緒に考えながら対応方法を見い出せるよう関わっております。
	㉑ 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8	3				なるべく訪問後は振り返りの時間を設け、次の支援へ繋げられるよう連携を図っております。
	㉒ 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	10	1				訪問後の様子はアプリやお電話等を通じて情報共有をさせて頂いております。
	㉓ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10				1	自己評価に於いてはホームページへ毎年発信しております。その他、毎月のお便りや活動案内はアプリ等を通じて発信しております。
㉔ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉔	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	9	1		1		打ち合わせの際に、事前説明を行っております。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1				毎年、安全計画を策定の上、計画に沿った対応を行っております。
満足度	㉖	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8	1	1	1		安心して通所頂けるよう、お一人お一人丁寧に寄りながら支援させていただきます。
	㉗	事業所の支援に満足していますか。	9	1		1		将来を見据えて成長発達へ繋がるよう、関係機関やご家族と情報共有をしっかりと図りながら今後も関わって参ります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年2月28日

ここぷらすまたね

利用児童数

12

回収数7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ・いつも細かく見てくださっているから。 ・児童の困り感を共有できているから ・訪問日決め方が丁寧 ・現状を把握されに訪問されているため。 ・助言・相談らしきことを受けてはいない。 ・助言をいただけることはあまりなく、園での様子を見て、少しその時の様子を話、終わることが多いため。 	情報共有だけでなく、必要に応じて助言を行うことができるよう努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	4		<ul style="list-style-type: none"> ・児童に寄り添う姿勢が好感持てます。 ・利用している担当児童や保護者から、今日はこんなことを学んだという話を聞くから。 ・対象児童が安心して取り組めているため。 ・訪問回数が多いので、知識や技術等の話まであまりしていない。 ・状況は伝え合うが、より深い話はできていない。 ・園で取り入れようと思えたり参考にしたいと思う対応やお話はあまりないように思えたから。 	一人ひとりに合わせた支援を大切にしています。訪問支援の知識、技術をさらに身につけられるよう研修も実施して参ります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・気さくになんでも話してくれました。 ・いつも分かりやすく説明をしてくださるから。 ・支援後に、シェアする時間があるため ・質問には丁寧に答えてくれる。 ・悩んでいることなど相談した際に一緒に考えてもらえるため ・回数がないため、何ともいえません。 	今後も、ご利用児童が安心して集団生活を送ることができるよう、また、先生方の助けとなることができるよう、支援力を高めて参ります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	6		<ul style="list-style-type: none"> ・回数がないため、何ともいえません。 ・保護者の要望で訪問の協力をいただけです。こちら側からのお願いではありません。 ・学校では問題なく生活できているが、お家では困り感があるようだから。 ・月一回程度なのでどちらとも言えない。だからといって増えても困る。 ・訪問にきて園がなにか得たものはあまりないのですが、訪問されたことで施設で訪問時の様子を参考に保育ができていっているのではないかと考えるため。 	困り感が軽減できるよう、ケース会議等をおして、課題の共有や、共通の取り組みの確認等行って参ります。

5	事業所からの支援に満足していますか。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用している児童がいつも楽しい！といきいきしているから。 ・丁寧だから ・回数がないため、何ともいえない。 ・児童が施設に通うことで通いだした頃よりは落ち着いたように感じるが、支援員が園に訪問にきて園が得るものはあまりないと感じるため。 	<p>訪問の必要性についても保護者や園と共通認識を持ち支援に当たることができるよう説明を行ってまいります。</p> <p>また、訪問受け入れ先の園や学校にも効果を感じて頂けるよう研修参加や支援の見直し等行って参ります。</p>
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・日程調整など細かいところまで付き合ってくれました。 ・月一回程度がちょうど良い。 ・学校にも何度も足を運んで頂きました。連絡もわずれずいれてくれました。ありがとうございました。 				<p>訪問のお受入れ、ありがとうございます。</p> <p>月1～2回の訪問支援ですが、ご利用者の集団生活がより充実したものとなるよう、支援力の向上に努めて参ります。</p>	